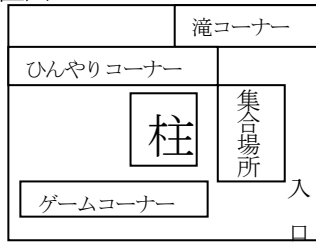


(3) 学習過程

時間	学習活動	教師の支援と留意点等	準備物																											
1分	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の当番であるBを指名する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CD ラジカセ</li> <li>CD</li> <li>ポール</li> <li>透明ビニールシート</li> <li>カラーボール多数</li> <li>じょうろ</li> <li>ボウル多数</li> <li>水入りポリ袋多数</li> <li>子ども用プール</li> <li>ブルーシート</li> <li>水風船</li> <li>タオル</li> <li>手ふき</li> <li>ぞうきん</li> <li>そり</li> <li>きりふき</li> <li>タオル</li> <li>長机</li> </ul>																											
5分	2 今日の学習について知る。 ※テーマソングを歌う。 「海」機器操作：T3	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ一人であいさつができるよう、T3はBが話す部分を前もって伝える。</li> <li>水遊びが夏休み前最後の回であることを伝える。何を行うか分かったり、期待感をもったりすることができるよう、T1～T3は水を提示しながら歌う。</li> </ul>																												
38分	3 ウォーターパラダイスを体験する。 ①道川の滝コーナー ※落ちてくる水に触ったり、その音を聞いたりする。 ②ひんやりコーナー ※ウォーターベッドや様々な冷たいグッズを体験する。 ③ゲームコーナー：進行：T2 「キャッチ・ザ・ボール」 ※水に浮かぶボールを拾って、拾ったボールの数の多さを競う。 ※配置図	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の感触を十分に味わうことができるよう、各コーナーにじっくり時間をかけて行う。その際は生徒の表情や体の動き等を観察し、言葉がけをしたり、発問したりする。その際は生徒が答えるまで待ったり、何回か言葉がけしたりする。</li> <li>友達とのかかわりをしやすいよう、友達の隣で活動したり、直接ふれあったりする場を設ける。</li> </ul> <p>※生徒の顔色や表情、体温に留意しながら活動を行う。体調不良の場合は休憩をする。または病棟に戻る。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="3">①のコーナー</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> <tr> <td>・興味をもって自分から水に触れることができるように、手を動かしやすい位置に教材や車いすを配置する。</td> <td>・水が流れてくる様子を見たり、手を伸ばして水に触れたりしやすい位置に車いすを移動する。</td> <td>・自ら手を伸ばすことができるよう、右手で水に触れやすい位置に提示したり、車いすを移動したりする。</td> </tr> <tr> <th colspan="3">②のコーナー</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> <tr> <td>・全身で感触を味わうことができるよう、教材を体の各部位につけ、表情等を観察する。ウォーターベッドの揺れに強弱をつける。自分から教材に触れようとしたら、その様子を見守る。</td> <td>・様々な感触や温度の違いを味わい、感じたことを言葉で表すことができるよう、問いかけに対する反応をじっくり待つ。また隣の友達の様子を見たり、物を介して触れ合ったりできるよう、「～さんにタッチ」等の言葉がけをする。</td> <td>・冷たい教材に触れ、感じた気持ちを言葉や表情で表現できるよう、手から首、顔と、順番に教材をつける。また、隣の友達と一緒に冷たさを共有できるよう、友達に教材を渡して見せたり、友達の顔につけてみせたりする。</td> </tr> <tr> <th colspan="3">③のコーナー</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> <tr> <td>・ボールを拾いやすいよう、左側に教材を提示する。活動に関心が薄くなった場合は、本生徒の手にじょうろで水をかける等、気分転換の時間を設ける。</td> <td>・手元を見ながらボールをつかむことができるよう、車いすを配置する。手でなかなかボールをつかめない場合は、網などを使用し、活動意欲が持続するようにする。</td> <td>・ボールを見て取るができるよう、赤・青・黄色の画用紙を見せながら、「次は○色のボールを取るよ」と話す。上手にできたら賞賛する。</td> </tr> </table>		①のコーナー			A	B	C	・興味をもって自分から水に触れることができるように、手を動かしやすい位置に教材や車いすを配置する。	・水が流れてくる様子を見たり、手を伸ばして水に触れたりしやすい位置に車いすを移動する。	・自ら手を伸ばすことができるよう、右手で水に触れやすい位置に提示したり、車いすを移動したりする。	②のコーナー			A	B	C	・全身で感触を味わうことができるよう、教材を体の各部位につけ、表情等を観察する。ウォーターベッドの揺れに強弱をつける。自分から教材に触れようとしたら、その様子を見守る。	・様々な感触や温度の違いを味わい、感じたことを言葉で表すことができるよう、問いかけに対する反応をじっくり待つ。また隣の友達の様子を見たり、物を介して触れ合ったりできるよう、「～さんにタッチ」等の言葉がけをする。	・冷たい教材に触れ、感じた気持ちを言葉や表情で表現できるよう、手から首、顔と、順番に教材をつける。また、隣の友達と一緒に冷たさを共有できるよう、友達に教材を渡して見せたり、友達の顔につけてみせたりする。	③のコーナー			A	B	C	・ボールを拾いやすいよう、左側に教材を提示する。活動に関心が薄くなった場合は、本生徒の手にじょうろで水をかける等、気分転換の時間を設ける。	・手元を見ながらボールをつかむことができるよう、車いすを配置する。手でなかなかボールをつかめない場合は、網などを使用し、活動意欲が持続するようにする。	・ボールを見て取るができるよう、赤・青・黄色の画用紙を見せながら、「次は○色のボールを取るよ」と話す。上手にできたら賞賛する。
①のコーナー																														
A	B	C																												
・興味をもって自分から水に触れることができるように、手を動かしやすい位置に教材や車いすを配置する。	・水が流れてくる様子を見たり、手を伸ばして水に触れたりしやすい位置に車いすを移動する。	・自ら手を伸ばすことができるよう、右手で水に触れやすい位置に提示したり、車いすを移動したりする。																												
②のコーナー																														
A	B	C																												
・全身で感触を味わうことができるよう、教材を体の各部位につけ、表情等を観察する。ウォーターベッドの揺れに強弱をつける。自分から教材に触れようとしたら、その様子を見守る。	・様々な感触や温度の違いを味わい、感じたことを言葉で表すことができるよう、問いかけに対する反応をじっくり待つ。また隣の友達の様子を見たり、物を介して触れ合ったりできるよう、「～さんにタッチ」等の言葉がけをする。	・冷たい教材に触れ、感じた気持ちを言葉や表情で表現できるよう、手から首、顔と、順番に教材をつける。また、隣の友達と一緒に冷たさを共有できるよう、友達に教材を渡して見せたり、友達の顔につけてみせたりする。																												
③のコーナー																														
A	B	C																												
・ボールを拾いやすいよう、左側に教材を提示する。活動に関心が薄くなった場合は、本生徒の手にじょうろで水をかける等、気分転換の時間を設ける。	・手元を見ながらボールをつかむことができるよう、車いすを配置する。手でなかなかボールをつかめない場合は、網などを使用し、活動意欲が持続するようにする。	・ボールを見て取るができるよう、赤・青・黄色の画用紙を見せながら、「次は○色のボールを取るよ」と話す。上手にできたら賞賛する。																												
5分	4 感想を教師と一緒に発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを言葉や発声、表情で伝えることができるよう、好きだったコーナーを聞く等、簡単な発問をする。その際は生徒の言葉や発声を待ったり、様子を見守ったりする。</li> </ul>																												
1分	5 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の当番であるBを指名する。</li> </ul>																												



※各コーナーの活動では、BとCが一緒に活動する。

(4) 評価

<生徒>・提示した教材に視線を向けたり、自分から手を伸ばしたりする等、興味・関心を持って学習活動に取り組んでいたか。

<教師>・提示した教材は生徒の実態に合った関心をひくものだったか。

・生徒が気持ちを表出しやすい簡単な言葉がけをしたり、生徒が気持ちを表出したとき、即時的に言葉を返したりしていたか。